



一年の計は元旦にあり



今年の読書目標は何冊!?



● 読書量を増やすコツ

「東図書館だより」では、9月号から4回にわたって“読書で得られるもの”や“読書の効果”などについて紹介してきました。

今回は、新年を迎え「新たな気持ちで読書に取り組もう」とお考えの皆さんに、読書量を増やすために試してみてもいいと思われる、読書のコツをご紹介します。



① 読書をする時間を決める

多くの方は、読書をする時間を「眠る前」と答えるのではないのでしょうか。でも、必ずしも就寝前である必要はありません。いつでも読めるときに読むことです。生活のリズムに読書を組み入れることで習慣化しやすくなります。自分が読書するのに一番向いている時間を見つけて、それを習慣にしましょう。

② どこでも読む

時間が空いたときや暇つぶしも含め、あちこちで数分ずつでも読書をする、積み重ねればかなりの時間になります。いつでも本が読めるよう、本を持ち歩くよう心掛けてみてはいかがでしょうか。

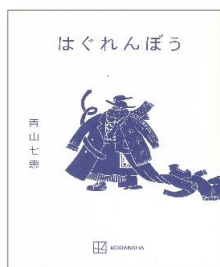
③ 昔読んだ本を読み直す

日々多くの本が出版されるなかで、新しい本を読みたい気持ちもわかりますが、昔読んだ(好きだった)本を読み直すのも良いものです。新しい発見を求めて、読み直してはいかがでしょうか。

④ 夢中になれない本は完読しない

幾多の本の中には、読んでいても楽しくない本や自分に合わないと感じる本もあります。そんなときは、さっさと読むのをやめて、別の本に移りましょう。自分で買った本なら、もったいなくてやめられませんが、図書館から借りた本なら簡単です。新たな本を選んで、楽しく読書を続けましょう。

◎ 新刊のお知らせ



『はぐれんぼう』 青山七恵/講談社

書籍の内容

あさりクリーニング店で働く優子は、持ち主が長く引き取りにこない衣服「はぐれんぼちゃん」たちを自宅に持ち帰る。翌朝目覚めると、それら衣服が体全体を覆っていた。不思議な感情に襲われた優子は衣服の持ち主のもとを訪れるが、次々に受け取りを拒絶される。道中に出会ったトレンチコートの謎の男ユザさんに導

かれるまま、「はぐれんぼちゃん」を身に纏ったちぐはぐな姿で、優子は帰るべき場所を求めて再び歩き始める。

◎ その他の新刊(一部)

[児童書]

『星空としゃかんの ジュリエット』、『じいちゃんの 山小屋』、『魔女だった かもしれないわたし』 ほか

[一般小説等]

『夏日狂想』、『グッドナイト』、『首切り島の一夜』、『絶筆』、『僕が君の名前を呼ぶから』、『我、鉄路を拓かん』 ほか

'23 東図書館カレンダー

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

■ は休館日です。

◆ 開館時間 午前10時～午後6時